

類似地域

指定基準	講評
<p>イ．当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。</p>	<p>類似地域は「極上な資源の再評価と最大限の活用」をキャッチフレーズとして、衛生管理強化やストック機能向上を図ることにより商品力の強化を行い、地産地消を核として地元製品のPRを進めていく内容となっている。特に、地域資源である水産物の付加価値を様々な手段で総合的に高めていこうというところに特徴があり、地域として価値あるビジョンとなっている。</p>
<p>ロ．当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン21の具現化に資する計画となっていること。</p>	<p>ビジョンは地域にとって有益なものとなっているものの、現段階において他地域を先導するような顕著なモデル性は見受けられない。</p>
<p>ハ．当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。</p>	<p>多様な協議会参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。地域マリンビジョンの策定時には地域の各部会を通じて状況を周知したり、プレスに投げ込みを行い新聞に掲載されるなど地域での合意形成に工夫がなされ、ビジョンを推進していくための環境醸成もなされている。</p>
<p>ニ．当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン21の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。</p>	<p>拠点漁港の類似漁港はモデル性が確保されている。衛生管理のための整備や水産物のストック機能の向上を図るための畜養施設の整備が計画されており、これらの基盤整備はビジョン実現を支援するものとなる。基盤整備を行うには一定の時間を要することから、整備を待たずに出来ることからビジョンの取り組みを行い、将来的に基盤の効果が最大限発揮して類似地域のビジョンが効果的に実現していくことを期待したい。</p>
<p>ホ．地域マリンビジョンの実現に向けた取り組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取り組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組主体の熟度が認められること。</p>	<p>既に地産地消の取り組みの第一段として全国的にも集客力のある宿泊施設と連携してマップのPRを展開するなど実行に移されている取り組みもあるが、一部は実効性に課題があるものもある。 フォローアップの検討を通じて、その時点における現状の課題を再確認しつつ、類似の地域規模と潜在能力に合った内容となるようにビジョンを見直しつつ進化させてより実効性のある取り組みとなることを期待したい。 また、各種の取り組みが単独に完結するのではなく、連携して相乗効果により発展するような戦略シナリオを盛り込むと、より継続性が高まると考えられる。</p>